

# TRIZ シンポジウム 2006

The Second TRIZ Symposium in Japan

## 「第2回TRIZシンポジウム」講演発表などの募集について

2006年2月18日  
日本TRIZ協議会  
第2回TRIZシンポジウム  
プログラム委員長



中川 徹 (大阪学院大学)

創造的な技術革新の技法「TRIZ」について、広く発表・討論・交流するために、日本TRIZ協議会が主催して、第2回のTRIZシンポジウムを開催いたします。つきましては、講演その他の発表を下記のように公募いたしますので、どうぞ積極的にご応募くださいますようお願いいたします。

### 記

#### 1. 第2回TRIZシンポジウム2006の概要

日時： 2006年 8月31日(木) ～ 9月2日(土) (3日間) (予定)

開会： 31日(木) 13:00、閉会：2日(土) 16:00

会場： 大阪府吹田市 パナヒルズ大阪 (松下電器健康保健組合の保養所) (予定)

565-0802 大阪府吹田市青葉丘南 10-1 Tel. 06-6877-0111

<http://www.mhio.panasonic.co.jp/hoyou/hoyousho.htm>

JR 茨木駅 (京都線、新大阪から快速で1駅) 下車、タクシー 7～8分。

主催： 日本TRIZ協議会

趣旨： 創造的な技術革新の技法「TRIZ」とその関連分野の普及・推進を図る。  
TRIZ (その関連分野を含む (以下同様)) に関心をもつ人々 (企業・学校・その他のユーザ、研究者、教育関係者、公益団体関係者、ツール開発・提供者、出版関係者、コンサルタント、その他) が一堂に会する場を提供する。  
TRIZの理解、研究、適用、普及、推進、開発を進める。  
TRIZとその関連分野、上位分野との積極的な交流・融合を図る。  
発表・討論・展示・交流などの機会をつくる。  
泊まり込みで、公式・非公式の情報交換を密にして、相互協力の人脈をつくる。  
TRIZの導入・適用・推進を新しく担当する人たち (技術者・マネージャ) にも、  
TRIZの考え方・使い方および動向を把握できるようにする。  
発表内容は公開とし、当日配布資料だけでなく、後日適当な形で公開する。  
日本だけでなく、海外との情報交換を行い、情報発信を図る。  
海外からの英語での発表も受け付ける。スライドは日英並行して投影する。

- 重点テーマ:** (1) TRIZ の技法の発展とその技術課題適用事例  
 (2) TRIZ の適用と推進のしかた、特に技術開発全体の中で捉えて  
 (3) 日本および世界における TRIZ 推進の状況

**形態:** 基調講演、特別講演、解説、総合討論など(企画もの、各 60~80 分、6~7 件)、  
 一般発表(公募、各 40 分、10~11 件、シングルトラック)、  
 ポスター発表とデモ・展示など(公募、複数並行、80 分、1~2 回)、  
 レセプション、交流会(グループ討論)など。  
 また、宿泊による懇親可能。(交通便利で、希望者は通いも可能)

**開催規模:** 前回参加者 104 名。会場は 200 余名収容可能。

**2. 一般発表(ポスター発表を含む)の募集要項**

**テーマ:** 上記のシンポジウムの趣旨に沿った、オリジナルな研究・活動報告。  
 つぎのような範囲で考えて下さい。(この他にもあれば検討します。)  
 特に、実地の適用事例・活動事例に基づいた発表をお願いします。

技法など	適用目的	適用分野	適用場面
TRIZ TRIZからの派生・発展 創造性技法、 アイデア生成法、 問題抽出技法、 問題解決技法、 将来予測技法、 技術革新技法・運動、 技術管理、知識管理、 研究開発技法 特許生成・特許分析、 技術の実装技法、 問題解決支援システム、 日本独自の諸方法 など	技術予測・市場予測、 問題抽出、 商品企画開発、 技術課題の解決、 技術コンセプトの生成、 品質向上、 コスト・納期削減、 特許発掘、特許強化、 ビジネスモデルの創成、 技法の検証、 創造性教育・訓練 など	一般技術分野 機械・機構系、 電気・電子系、 システム系、 ソフトウェア系、 材料系、 化学系、 生物系、  ビジネス系、 社会問題、 身近な問題、 など	大学等教育、 技術者教育、 普及・啓蒙、 適用試行、 グループ活動、 実地適用、 推進組織化、 推進活動、 R&D 全般、 管理者教育、 中小企業普及、 初等中等教育、 など

**発表形態(一般発表):** 基本発表時間: 発表 30 分 + 質疑応答 10 分。  
 シングルトラック (1 会場)

**(ポスター発表):** 会場内のコーナーに分散して、複数同時並行で掲示・発表。  
 全体の時間は 80 分。比較的少人数での自由な質疑応答可能。

**(a) 発表の申込み(一般発表・ポスター発表とも)**

必要事項 (0): 申込みメール: 発表題目、著者(所属)、著者代表連絡先、  
 希望形態(一般発表のみ、一般発表優先・ポスター発表可、  
 ポスター発表優先、など)。

必要事項 (1): 発表題目、著者(所属)(共著者を含む)、

200 字程度の概要、説明文 (図表も可)、全体で A4 の 1 頁。

(注: 書式見本別紙参照、

題目・著者・概要は事前プログラムに掲載する。

説明文は (この時点では) プログラムの審査・編成用。)

必要事項 (2): 英文の発表題目、著者 (所属) (共著者を含む)、英文概要

(注: 書式見本別紙参照。

英文での事前プログラムに掲載する。)

申込・問い合わせ先: プログラム委員長: 中川 徹 (大阪学院大学)

プログラム副委員長: 小西慶久 (三菱総研)

送付方法: 電子メールで文書添付 (MS Word)、宛て先は下記の両方へ。

nakagawa@utc.osaka-gu.ac.jp

申込み締め切り: 2006 年 5 月 12 日 (金)

### (b) プログラムの決定と著者への通知

採否決定: 発表の採否とプログラム案の決定は、5 月下旬に日本 TRIZ 協議会  
プログラム委員会で行います。

申込みが多数の場合にはポスターセッションでの発表への変更や、不採用などの  
判断をいたします。ご了承下さい。

著者への通知: 発表の採否およびプログラム案を、5 月末日までに通知します。

採用された著者は指示に従って、原稿を次項のように準備下さい。

### (c) 発表資料の提出:

必要事項(0): 発表資料送付のメール: 送付の項目、ファイル名などを明示。

必要事項(1): 発表題目、著者 (所属)、200 字程度の概要、説明文 (図表も可)。  
全体で A4 の 1 頁。

書式は申込み時のものと同じ。推敲可。(印刷、後日 Web 公表用)

必要事項(2): 英文の発表題目、著者 (所属)、概要 (上記概要の英訳)。

書式は申込み時のものと同じ。上記(1)とは別紙のこと。

(英文プログラムとして、当日海外参加者に配布、後日 Web 公表)

必要事項(3): スライド (和文)。

印刷は 4 スライド/頁を基本とする。

(特に必要と判断したものだけ 2 スライド/頁で印刷する。)

随意提出事項(4): 和文論文

(和文論文を随意提出する場合には、スライドと論文のうちの

どちらを Proceedings に掲載するかを著者が選択・指定する。)

随意提出事項(5) 英文スライド

(当日発表の和文スライドの英訳版。スクリーンで同時投影。

海外参加者に当日印刷配布する。できるだけ提出ください。

やむを得ないときは TRIZ 協議会メンバーが支援します。)

随意提出事項 (6) 英文論文

(海外参加者に当日印刷配布する。)

送付方法: 電子メールに添付して送付。MS Word, PowerPoint ファイルなど。

送付先: プログラム委員長: 中川 徹 nakagawa@utc.osaka-gu.ac.jp  
プログラム副委員長: 小西 慶久 konishi@mri-sys.co.jp  
(注意: 実務の万全を期すため、必ず両方に送付下さい。)  
締め切り: 8月8日(火)  
注: 随意提出の英文スライドは締切 8月18日(金)

#### (d) 発表などに対する著作権の扱いについて

前提事項: 発表申込みおよび発表資料の提出時点において、発表者はその内容が他者の著作権などを侵害していないことを確認し、また社内の発表許可などを経ているものとします。

発表時期: 発表資料の公表時点はシンポジウム初日 8月31日とします。

著作権: 発表資料の著作権は、著作者本人にあるものとします。  
よって、著者はTRIZシンポジウムの後に、自分が適当と考える方法で、他に投稿・発表などができます。

発表者は、以下の事項に対して「日本TRIZ協議会」に非排他的な権利を譲渡するものとします。

- ・ 「第2回TRIZシンポジウム」での当日配布資料に印刷し、配布すること。
- ・ また、その資料の複製を後日配布・販売すること。
- ・ 日本TRIZ協議会が適切と考える Web サイト(複数可)で後日公開あるいは限定開示すること。
- ・ 発表のスナップ写真撮影を許可し、それらを日本TRIZ協議会が適切と考える方法で、掲載、配布、案内資料などに使うこと。

#### (e) ポスターセッションでの発表:

趣旨: 発表申込みの数が、一般発表の可能な枠数よりも多くなると予想されます。このため、一部の発表を同時並行での「ポスター発表」とし、できるだけ多くの方に発表いただける場をつくりたいと考えました。ポスター発表は、比較的少人数の参加者とじっくり討論できますので、「一般発表よりも有益であった」と感じられる方もあります。

やり方: 「ポスター発表の紹介」セッションで、各人2分程度で概要を紹介する。その後に、会場の複数コーナーに分かれ、発表資料を掲示・展示して、各発表者が待機して説明します。参加者は自由に見て/聞いて回る。セッションの時間は80分を予定。掲示は、半日(または1日)の予定。

発表資料: スライドと同様のものを作り、A4/B4で印刷して模造紙に貼る。模造紙2枚分を標準にします。パソコンでのデモなども可能。

Proceedings: 一般発表と同じやり方で印刷・配布する予定です。

振り分け: 発表申込み時に、希望する形態を記入ください。

(一般発表のみ、一般発表優先・ポスター発表可、ポスター発表優先、等)。  
ただし、最終的な振り分けは、プログラム委員会にお任せ下さい。

### 3. プログラムに関するその他の計画について

下記のような企画を進めております。ご意見をお寄せ下さい。

#### 3.1 基調講演・特別講演・解説・総合討論など（企画もの）

- (a) 基調講演: TRIZ に直接的に関係するテーマで重要なものの招待講演。2 件程度。
- (b) 特別講演: TRIZ の周りの興味深いテーマ、重要トピックでの招待講演。3 件程度。
- (c) 解説: TRIZ に関して比較的新しい人たちを主対象とした、導入と解説。1 件。
- (d) 総合討論: 特定の重要テーマに対するまとめの討論、パネル形式も検討。1 件。

#### 3.2 討論と交流の促進

- (a) 公式討論: 講演および一般発表では質疑応答時間を必ず 10 分（以上）取る。  
ポスター発表では、少人数での自由な討論を行なう。
- (b) 半公式の交流: レセプション: 第 1 日夕方、立食、2 時間程度。  
交流会: 第 2 日夕食後、複数コーナーでのグループ討論、2 時間。  
テーマを数件設定し、予め話題提供者を要請しておく。
- (c) 非公式の交流: 休憩時間（各 20 分）、食事時間、朝の時間など。  
上記の半公式の終了時間を明確にし、夜のその後は非公式で交流。

#### 3.3 海外からの招待者・参加者と、世界の TRIZ 動向

- (a) 基本方針: 本シンポジウムは、国内向けを主とする、同時に国際的配慮をする。  
海外からの参加を要請し受け入れることが、日本の TRIZ の推進に有益。  
同時に、海外参加者にも有益になるようにする必要あり。
- (b) 使用言語は、日本語 または 英語 とする。
- (c) 英文の発表者募集・参加者募集を出す。プログラム、論文概要などを英文でも公表。  
海外から TRIZ のリーダを招待して、基調講演などを依頼する。
- (d) 日英、英日の通訳（同時/逐次）を雇うことを検討したが、設備・予算・時間効率などの点に難点が多く、採用しないことにした。参加者による通訳補助のみ。
- (e) すべての発表（ポスター発表を除く）のスライドを「和・英」同時並行投影にする。  
スライドの事前入手と（英和および和英の）翻訳が必要。  
日本人発表者はできるだけ自分で和英の翻訳をお願いしたい。  
TRIZ 協議会メンバーが、英和の翻訳と、一部の和英の翻訳を引き受ける。
- (f) 英文 Proceedings を海外参加者だけに当日配布する。  
全発表の英文概要だけでなく、英文スライドが掲載できるとよい。
- (g) 半公式の交流会において、海外からの参加者を囲んだグループ（複数）を作り、  
彼らの話を聞くと同時に、彼らの質問に答えるようにする。
- (h) 全期間を通じて、海外参加者とできるだけ英語で会話し、交流してほしい。  
海外の動向を直接に聞き、その方向を理解いただきたい。もちろん、発信も。

#### 3.4 ツールのデモ、書籍展示、コンサルティング案内など（コマーシャルな活動）

希望の方は、希望する内容・形式・時間／場所の希望などを、適当な文書にして、  
電子メールで申込み下さい。

申込み先: 総合運営担当: 三原祐治（富士写真フィルム）

### 3.5 宿泊

希望者は全員会場の「パナヒルズ大阪」に宿泊可能にします。個室または二人部屋。交通の便がよいので、関西地区の方は、宿泊せず通いでも、参加可能です。

### 3.6 参加費と発表者割引

全日参加・宿泊の場合の参加費を、5万円弱にできるように努力中です。発表者割引も検討中です。後日案内いたします。

## 4. 準備日程の概要

- |          |   |
|----------|---|
| 2月下旬     | プログラムの骨子を発表し、発表者募集を開始（和文・英文）。                           |
| 5月12日（金） | 発表アブストラクトの締切。   |
| 5月末      | プログラムの決定と発表（和文・英文）。参加者募集を開始。<br>発表者への連絡、発表スライド等執筆要項の連絡。 |
| 8月8日（火）  | 発表スライドの締切   |
| 8月18日（金） | 参加申込み締切。  |
| 8月31日（木） | シンポジウム開催  |

以上